

ひるまだより



OPひるま歯科 矯正歯科
OP Hiruma Dental Clinic

〒190-0012 立川市曙町1-36-1 曙第3ビル2F
TEL=042-526-3376 HP=http://www.hiruma.or.jp/
E-mail=clinic-contact@hiruma.or.jp

8月

日	月	火	水	木	金	土
	01	02	03	休	05	06
休	08	09	10	休	12	13
14	休	16	17	休	19	20
休	休	休	休	休	26	27
28	休	30	31			

9月

日	月	火	水	木	金	土
					休	02 03
休	05	06	07	休	09	10
11	休	13	14	休	16	17
休	休	20	21	休	23	24
25	休	27	28	休	30	



埋まっていた歯がきちんと並んだところで、書間先生から、すべての歯が永久歯に生えかわるまで矯正治療はせずに様子を見ていく

というお話があり、それからは定期的にメンテナンスに通い、むし歯はないか、歯みがきがちゃんとできているかなどを診てもらっていました。

◆永久歯に生えかわったあとはどのような治療をしましたが。

— すべての歯が永久歯になってみると、きれいな歯並びにはならず上の歯が前に出ていました。書間先生から説明を受けて2回目の矯正治療を始めることをすすめられました。2回目の矯正装置をつけたのは、小学校6年生で卒業アルバム撮影をする時期。ワイヤーをしたまま写真を撮るのがいやで書間先生に相談したところ、その時だけはずしてもらうことができました。

◆治療がいやになることもありました。

— 矯正装置をつけている間は、とにかく見た目が気になって仕方がなかったのですが、母から「高校生になってから治療を始めるのもっと気になるんじゃないか」と言われたことがずっと心に残っていました。今治療をがんばれば高校生になったときにきれいな歯並びになる、しっかりと治そうと自分に言い聞かせ、がんばって通院しました。

書間先生は私の気持ちをよく理解していつも親身になって対応してもらえたのが本当に嬉しかったです。歯のみがき方もしつかり教えてもらいました。今では毎日、朝と夜に時間をかけていい歯みがきをしています。

◆OPひるま歯科矯正歯科に通院するようになったきっかけを教えてください。

— 小学生の頃、右上1番の永久歯が出てこなかったんです。かかりつけの歯科で専門の医院で診てもらおうと言われて足を運んだのがOPひるま歯科矯正歯科でした。書間先生に診てもらった結果、手術で歯茎を切開して埋まっている歯に矯正装置をつけ、正しい位置に出す治療をしようと言われました。当時8歳で、手術と言われてこわかったことを覚えています。

◆手術を受けていかがでしたか。

— 実際に始まってみると麻酔の注射を打たれて「痛い…」と思った記憶は残っていません。気がついたら手術は終わっていました。

◆その後、ワイヤーをつけたのですか。

— そうです。手術の後しばらくは縫合の糸も残っていたし、見た目がすごく気になりました。友だちから何か言われないかと不安でずっとマスクをつけていました。

患者さんインタビュー 38 Tさん

見た目が気になる気持ちを理解し親身に対応してもらえて嬉しかった

インタビューの内容をタイポグラフィ版でお届けします。全文はホームページに掲載していますのでご覧ください。

◆OPひるま歯科矯正歯科に通院するようになったきっかけを教えてください。

— 小学生の頃、右上1番の永久歯が出てこなかったんです。かかりつけの歯科で専門の医院で診てもらおうと言われて足を運んだのがOPひるま歯科矯正歯科でした。書間先生に診てもらった結果、手術で歯茎を切開して埋まっている歯に矯正装置をつけ、正しい位置に出す治療をしようと言われました。当時8歳で、手術と言われてこわかったことを覚えています。

◆手術を受けていかがでしたか。

— 実際に始まってみると麻酔の注射を打たれて「痛い…」と思った記憶は残っていません。気がついたら手術は終わっていました。

◆その後、ワイヤーをつけたのですか。

— そうです。手術の後しばらくは縫合の糸も残っていたし、見た目がすごく気になりました。友だちから何か言われないかと不安でずっとマスクをつけていました。

患者さんインタビュー 38 Tさん

見た目が気になる気持ちを理解し親身に対応してもらえて嬉しかった

インタビューの内容をタイポグラフィ版でお届けします。全文はホームページに掲載していますのでご覧ください。

Tさんの症状について解説します

OP ひるま歯科 矯正歯科 院長 書間康明



初診時の診断

上顎右側1番の埋伏 上突咬合
両突歯列 叢生歯列弓 下後退顎

初診時



【1期治療】

開窓牽引開始時

牽引終了時

上顎右側1番の歯肉は膨隆しており顎骨の浅い部位に埋伏していることが予想された。上顎右側1番の顎骨を除去する開窓、矯正装置の装着を行い牽引を行った。動的治療期間は10ヵ月。



【2期治療】動的治療開始時



【2期治療】動的治療終了時



Tさんは8歳で来院。一般歯科医に上顎右側1番の萌出遅延を指摘され乳歯を抜歯したものの萌出してこなかったため、矯正歯科医による開窓牽引が必要と指摘され当院を受診されました。

1期治療では上顎に部分的な矯正装置を装着し上顎右側1番の牽引を行うこととしました。1期治療で埋伏の改善はできるものの2期治療が不必要となる症例ではないことを説明し治療に入りました。1期治療終了後は、上顎前歯部に固定式の保定装置を装着し後戻りを防ぎながら、永久歯の上下6番が萌出完了する12歳まで経過観察とメンテナンスを行いました。成長変化により臼歯関係は上顎歯列に対して下顎歯列が後方に位置する傾向を認め、叢生と上顎前歯の唇側傾斜が現れてきたため最終的な矯正治療（2期治療）による改善の希望を確認したところ希望されたので精密検査を行い治療方針を決定しました。上左右4番、下左右5番を抜歯し叢生と臼歯関係の改善を行う方針としました。

動的治療後の評価では、治療計画通り抜歯スペースにより叢生は改善され、咬合平面は平坦化し前歯から臼歯まで均一に咬合できるようになりました。前歯の後退とともに鼻骨と下顎骨の成長により口唇の突出感、口唇閉鎖時の緊張感を認めない美しい口元を得る事ができました。